大島出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所　大島出張所

【定点把握疾患】2026年 第25週（6月15日～6月21日）

大島　・・・急性呼吸器感染症（ARI）　10件※
利島　・・・なし
新島　・・・なし
式根島　・・なし
神津島　・・なし

※急性呼吸器感染症（ARI）の報告対象は大島のみ

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター　第24週（6月8日～6月14日）

・手足口病の定点当たり報告数が1.92（前週1.10）と引き続き増加しています。
・ヘルパンギーナの定点当たり報告数0.55（前週0.30）も増加傾向です。

今週のコメント

マダニにご注意ください！

出典：東京都健康安全研究センター・保健医療局

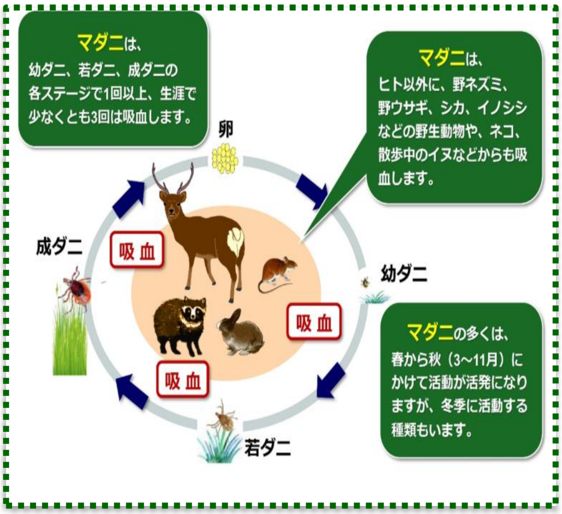
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、2011年に新しいウイルス感染症として報告されました。

人と動物との共通感染症ですので、人もペットも、マダニに刺されないことが重要です。

『マダニ対策、今できること』
出典：国立健康危機管理研究機構

マダニの生活環

出典：国立健康危機管理研究機構



感染症ひとくち情報

2026年5月11日
東京都健康安全研究センター

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ってどんな病気？

どんな病気？

・SFTSウイルスによる感染症で、ウイルスを持ったマダニに咬まれることで感染します
・マダニに咬まれて感染した動物からの感染も報告されています。
・SFTSにかかると、主に発熱と消化器症状（嘔吐、下痢、腹痛など）が現れます。意識障害や出血症状など重篤な症状をきたすこともあります。
・日本での致死率は10～30%といわれています。これまで主に西日本で発生が見られていましたが、近年感染地域が拡大しており、関東や北海道でも発生が見られています。
・都内では2019年、2022年に各1例、2026年5月にも1例報告がありました。いずれも都外での感染です。
・治療としては、対症療法のほか、抗ウイルス薬（ファビピラビル）が使用できます。

どうやってうつるの？

・主にマダニに咬まれることで感染しますが、すべてのマダニが病原体を持っているわけではありません。
・感染したネコやイヌ等との濃厚接触により感染することもあります。
・マダニは日本全国に分布しており、特に野生動物が生息する自然環境が豊かな場所に多く生息しますが、市街地周辺でも自然が豊かであれば、畑やあぜ道、河川敷にも生息していることがあります。

葉に潜むマダニ

どうやって防ぐの？

・野山や河川敷などで野外活動を行う場合は、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を控えましょう。
・帰宅したら、衣類や体にマダニが付いていないか、よく確認しましょう。シャワーで全身を洗い流すことも有効です。
・着用していた衣類はすぐに洗濯するなど家の中で長時間放置しないようにしましょう。
・マダニに効果があると記載されている虫よけ剤（有効成分：ディート、イカリジン）も市販されています。
・原因不明の体調不良がある動物（特にネコ、イヌ）には直接触れない、飛沫を浴びないようにしましょう。

マダニに咬まれたら？

・マダニに咬まれたときに、虫を無理に取り除こうとすると、病原体が体内に入ったり、皮膚の中に虫の一部分が残ることがあります。自分で取り除こうとせず、必ず医療機関を受診し、処置してもらいましょう。
・また、マダニに咬まれた後、数週間は体調の変化に注意し、発熱などの症状がみられた場合も医療機関を受診しましょう。

写真：薬事環境科学部環境衛生研究科　※イラストは文章生成AIにより作成

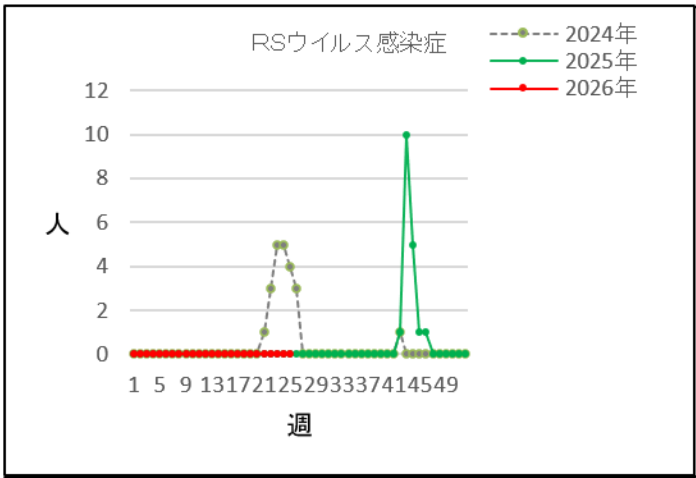
島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

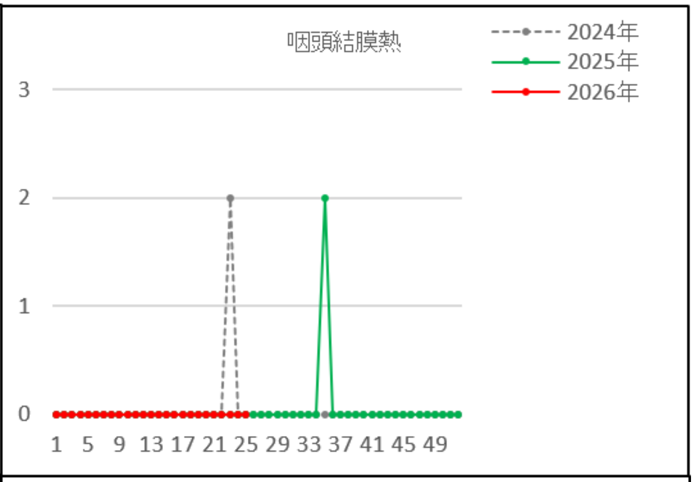
※　大島出張所管内、東京都（全域）、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

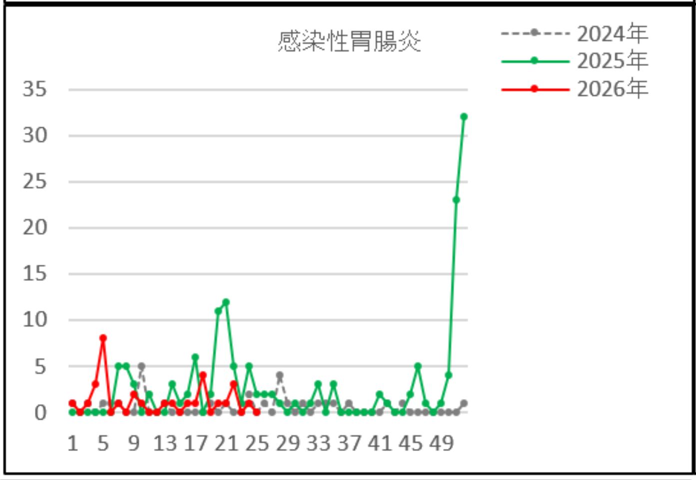
〇　大島出張所管内⇒島しょ保健所大島出張所 https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/oshima/index.html

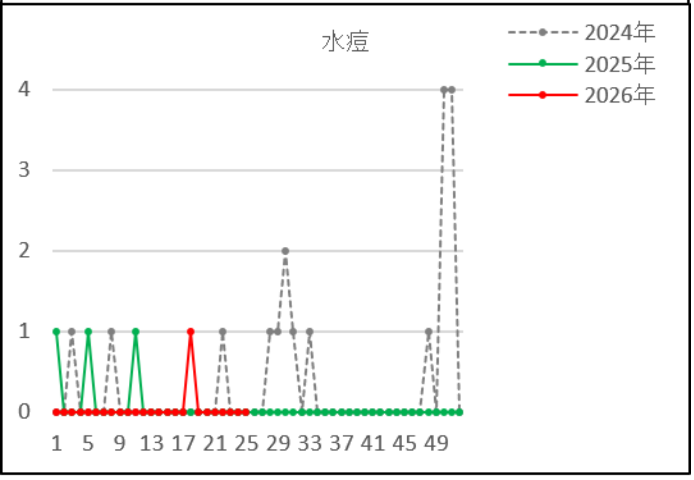
〇　東京都（全域）⇒Web版感染症発生動向（東京都感染症情報センター）https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp

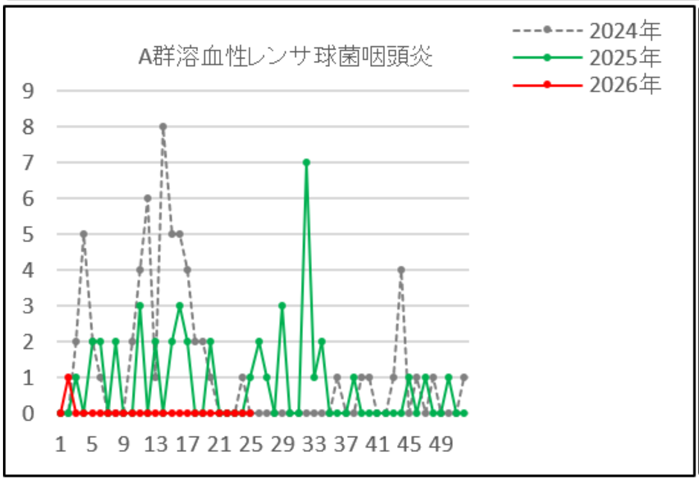
〇　全国⇒国立健康危機管理研究機構（感染症情報提供サイト） https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html

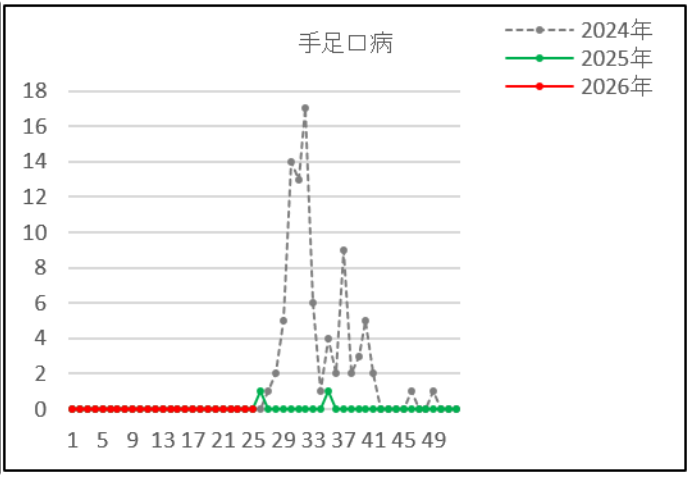

RSウイルス感染症
2024年
2025年
2026年
12
10
8
6
4
2
0
人
1 5 9 13172125293337414549
週

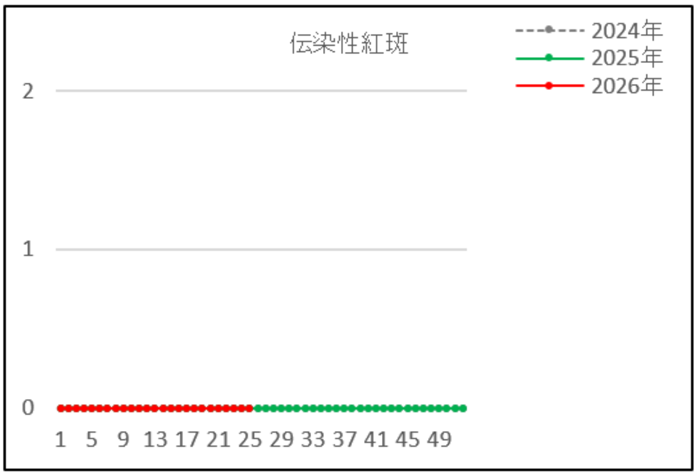

咽頭結膜熱
2024年
2025年
2026年
3
2
1
0
1 5 9 13 17 21 25 29 33 37 41 45 49

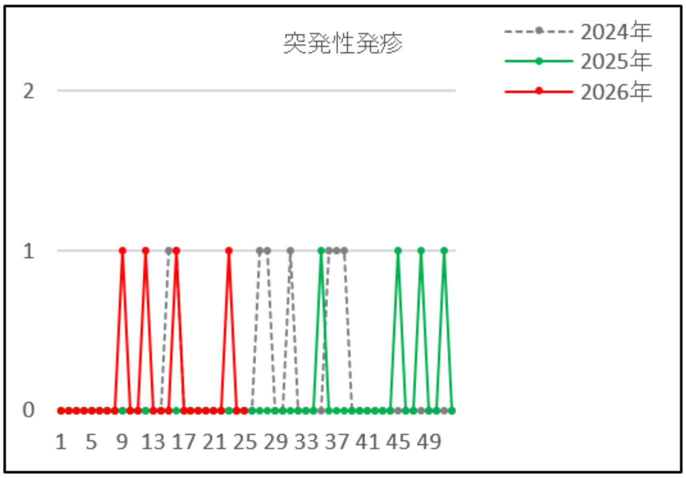

感染性胃腸炎
2024年
2025年
2026年
35
30
25
20
15
10
5
0
1 5 9 13 17 21 25 29 33 37 41 45 49

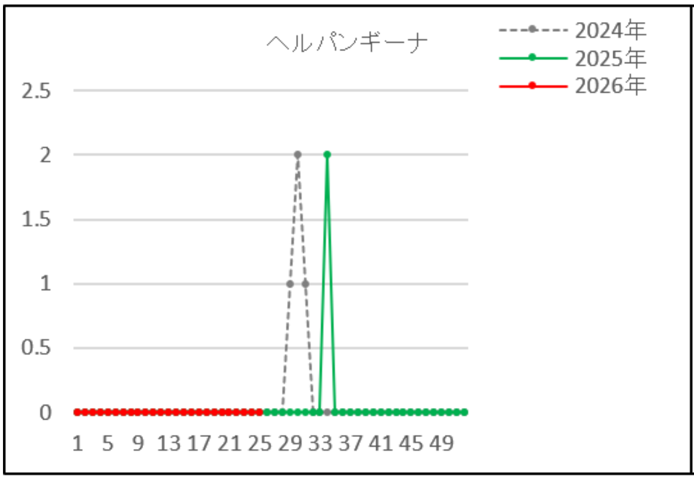

水痘
2024年
2025年
2026年
4
3
2
1
0
1 5 9 13 17 21 25 29 33 37 41 45 49

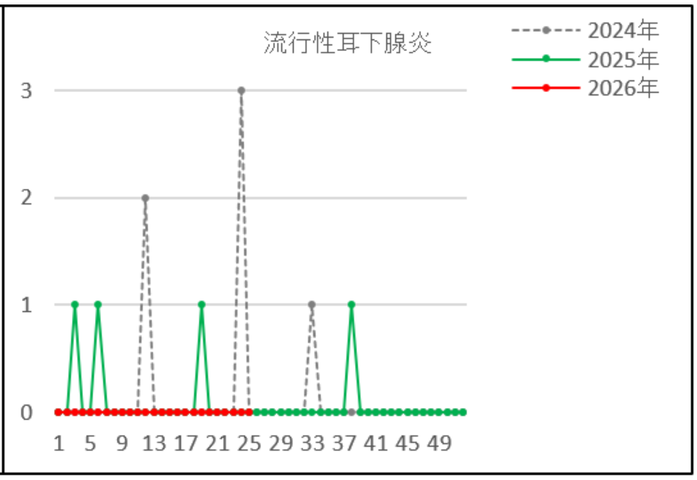

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
2024年
2025年
2026年
9
8
7
6
5
4
3
2
1
0
1 5 9 13 17 21 25 29 33 37 41 45 49

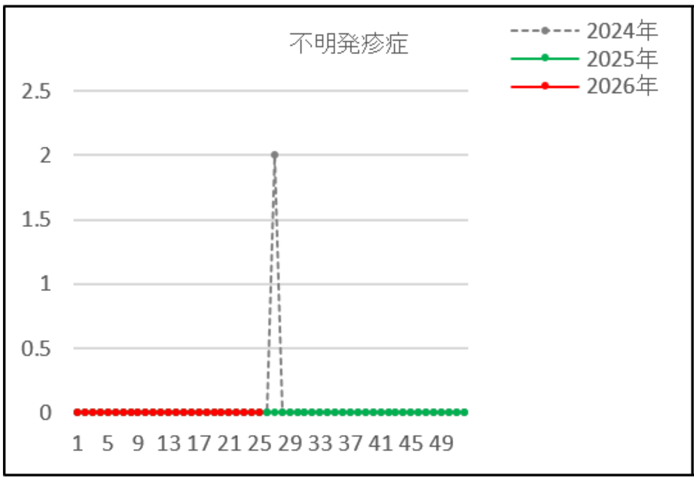

手足口病
2024年
2025年
2026年
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
1 5 9 13 17 21 25 29 33 37 41 45 49

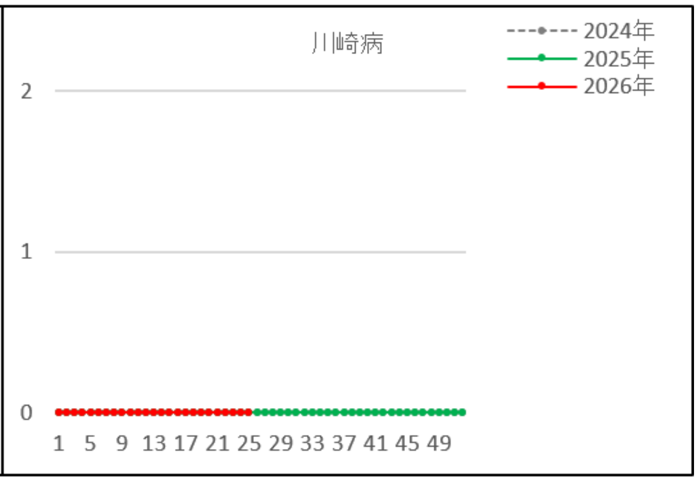

伝染性紅斑
2024年
2025年
2026年
2
1
0
1 5 9 13 17 21 25 29 33 37 41 45 49

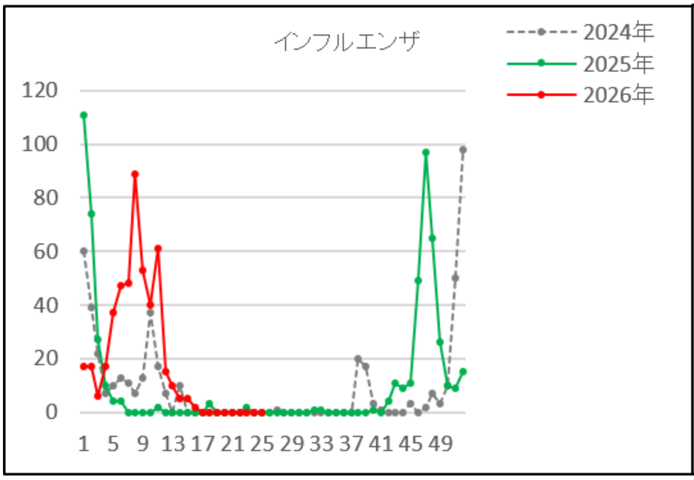

突発性発疹
2024年
2025年
2026年
2
1
0
1 5 9 13 17 21 25 29 33 37 41 45 49

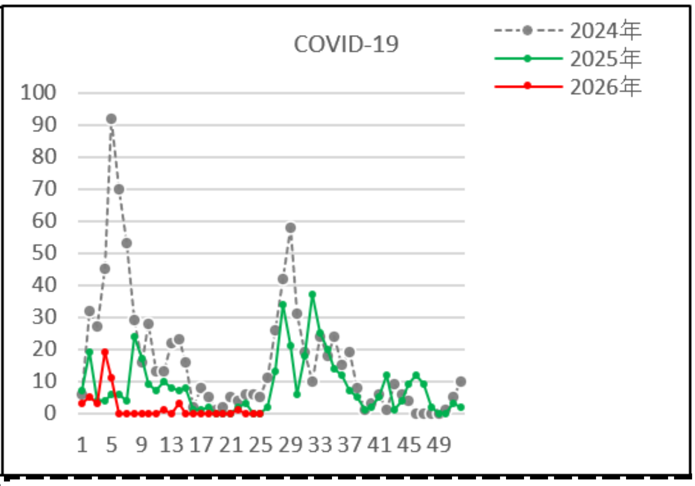


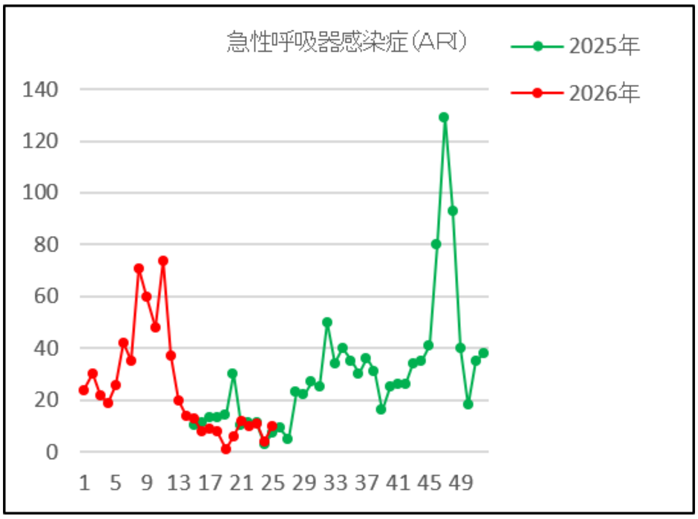












※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握・分析し情報提供をすることにより、感染症発生および、まん延を防止することにあります。
大島では、大島医療センターが小児科定点・疑似症定点に指定されており、医師の診断に基づき集計しています。また、大島出張所管内では、協力届出医療機関として利島村診療所・新島村本村診療所・新島村式根島診療所・神津島村診療所の医師より報告を受けた人数を計上しています。

＜編集・発行＞
東京都島しょ保健所大島出張所　電話：04992-2-1436　FAX：04992-2-1740
新島支所　電話：04992-5-1600　FAX：04992-5-1649
神津島支所　電話：04992-8-0880　FAX：04992-8-0882